

苫小牧工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	応用英語Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	APAE1010		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	電子・生産システム工学専攻		対象学年	専1	
開設期	後期		週時間数	後期:2	
教科書/教材	Science Finder 科学の不思議 Jonathan Lynch・Kotaro Shitori著 (成美堂)				
担当教員	東 俊文				
到達目標					
1. 標準的な英単語や英文法を習得した上で、「読む」「聞く」という作業を中心に、一般的・専門的な分野の文章を解釈し、その内容を日本語で説明できる。 2. 英文を通して、国内事情や海外事情などを深く理解できる。 3. 英語で簡単なコミュニケーションをとることができる。 4. 継続的な学習によってTOEICスコア400点の取得が現実的となる英語力を身につけ、TOEIC-IP等の受験によって自身の英語力を正確に把握できる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 語彙力・文法力	達成目標を超える語彙力・文法力が身につけている。	達成目標に必要な語彙力・文法力が身につけている。	達成目標に必要な語彙力・文法力が身につけていない。		
評価項目2 内容理解力	英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	英文を読んで概ね理解し、その内容を日本語または英語で概ね説明できる。	英文を読んで理解できず、その内容を日本語または英語で説明できない。		
評価項目3 コミュニケーション力	英語でコミュニケーションをとることができる。	英語で簡単なコミュニケーションをとることができる。	英語でコミュニケーションをとることができない。		
評価項目4 英語力の把握	継続的な学習によって、一般社会に通用するTOEICスコア取得が現実的となる英語力を身につけ、TOEIC-IP等の受験によって自身の英語力を正確に把握できる。	継続的な学習によって、TOEICスコア400点の取得が現実的となる英語力を身につけ、TOEIC-IP等の受験によって自身の英語力を正確に把握できる。	継続的な学習をせず、TOEICスコア400点の取得が現実的となる英語力を身につけず、TOEIC-IP等の受験によって自身の英語力を正確に把握しない。		
学科の到達目標項目との関係					
J A B E E基準1 学習・教育到達目標 (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養 J A B E E基準1 学習・教育到達目標 (e) 種々の科学、技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力 J A B E E基準1 学習・教育到達目標 (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力 J A B E E基準1 学習・教育到達目標 (g) 自主的、継続的に学習できる能力 学習目標Ⅰ 人間性 学習目標Ⅱ 創造性 学習目標Ⅲ 国際性 専攻科の点検項目 A-3 地球環境や社会における問題点を整理し、社会科学および人文科学の知識、概念、方法論に基づいて多様な観点から考えることができる 専攻科の点検項目 C-4 英語で書かれた論文などを正しく読解し、その内容を日本語で説明できる 専攻科の点検項目 C-5 英語で簡単なコミュニケーションをとることができる 専攻科の点検項目 E-2 工学知識、技術の修得を通して、自主的・継続的に学習することができる					
教育方法等					
概要	科学的な話題を扱っている文章が掲載されている教科書を使い、今までに養ってきた読解力や技法を駆使しながら正確に英文を読解していく。それと同時に、科学的な話題に親しみをもち、興味を持つことによって知識も深めていく。そのため、学習者に読解した内容について説明を求め、理解度を確認する。そして、内容への理解度を深めるため、本文の後に掲載されている演習問題を解いていく。				
授業の進め方・方法	予習：授業の前に教科書本文を自分の力で読んでくる。わからない単語は辞書で調べておいて構わない。その後、"Comprehension Questions"と"True or False"の問題を解いてくる。 授業：本文の内容や文章の意味を正確に把握しているかどうかを、訳読などの手法で確認する。予習が前提であるため、発表者をアトラダムに指名していくこともある。予習して来た内容の確認が終わった後、"Read and then Listen"と"Writing"の問題を解いていく。				
注意点	1) 英語力向上のために、継続的に自学自習を行わなければならない。 2) 教科書と辞書は必ず持参し、積極的に授業に参加しなければならない。 3) 特別研究などの英文アブストラクト(要旨)を書けるように、文および文章構造を意識して読解に取り組むこと。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	授業の進め方についての説明・Unit 1 Digital Amnesia	授業の進め方を理解できる・Unit 1の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	
		2週	Unit 1 Digital Amnesia Unit 2 Sleep Paralysis	Unit 1・2の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	
		3週	Unit 2 Sleep Paralysis Unit 3 Why Are Some People Better at Learning Languages?	Unit 2・3の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	
		4週	Unit 3 Why Are Some People Better at Learning Languages? Unit 4 The McCollough Effect	Unit 3・4の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	
		5週	小テスト・Unit 4 The McCollough Effect	小テストの範囲の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。 Unit 4の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	
		6週	Unit 5 The Healthiest Drink?	Unit 5の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	
		7週	Unit 8 A New Antibiotic Found in the Soil	Unit 8の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	
		8週	Unit 10 Lazy Ants	Unit 10の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	

4thQ	9週	後期中間試験	後期中間試験の範囲の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。
	10週	Unit 12 Animals and Earthquakes	Unit 12 の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。
	11週	Unit 13 LiquiGlide	Unit 13 の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。
	12週	Unit 14 Unbreakable Glass	Unit 14 の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。
	13週	Unit 15 Robots Are Winning	Unit 15 の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。
	14週	Unit 16 Li-Fi	Unit 16 の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。
	15週	Unit 18 The Ninth Planet	Unit 18 の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。
	16週	後期定期試験	後期定期試験の範囲の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。

評価割合

	試験	レポート・小テスト等	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	60	40	100
専門的能力	0	0	0